

会議録

会議の名称	令和5年度 第5回座間市学校施設適正化方針検討委員会		
開催日時	令和5年 11月 1日（水） 14時00分～16時00分		
開催場所	市役所5階 5-4会議室		
出席者	山森委員長、天野副委員長、松尾委員、小宮委員、牧野委員、窪委員、川畑委員		
事務局	教育部 教育総務課 木島教育長、安藤教育部長、高木教育総務課長、野澤就学支援課長、東保健給食担当課長、石田教育研究所長、阿部副主幹兼指導主事、清水学校施設係長		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	4人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1 望ましい学習環境の見える化（案）について 2 ざま魅力ある学校づくり方針（素案）について		
資料の名称	資料1 望ましい学習環境の見える化（案） 資料2 ざま魅力ある学校づくり方針（素案）		

議事の詳細

(○委員の発言、●事務局の発言)

議題1 望ましい学習環境の見える化(案)について

・事務局から資料1に基づき、詳細な内容の説明

○資料1「望ましい学習環境の見える化(案)について」の説明があった。前回の議論を踏まえて整理したが、委員より意見をお願いします。

○色分けした中で分かりやすく整理できている。

○夢のような学校だと感じる。

○とてもよくまとまっている。先が見える形で良いと感じた。

○この資料を見て、技術的に難しいものは無いと思う。しかし、1足制が脇に置かれたことは残念。今後、グラウンドをポリウレタン舗装、芝生化又は人工芝化することにより、昇降口の空間を無くし、一足制を導入しても校舎内を汚さないことはできる。

○前回、近隣住民に迷惑を掛けているグラウンドの砂埃対策を兼ねて校庭を人工芝化し、上履きを廃止する一足制の導入について意見があった。

○1足制の高校では校舎の清掃に業者が入っているようだ。グラウンドが整備されるならば、1足制は良いのではないか。

「学校全体が環境教育の教材」の水辺のイラストは何か。

●生態系を再現するビオトープで、池のようなもの。

○自然環境が感じられる学校は良い。

○一足制の採用の有無により、建物の維持等の仕方に違いは生じるか。

○床は、長寿命化改修時に張り替えるので大きな問題にならない。

○東京の学校の校庭は恐らくポリウレタンだと思うが、子供が転ぶと火傷してしまう。このため、人工芝か芝生に舵を切っている。

○天然芝は手入れが大変。ポリウレタンは転んだときに肌の露出部分を火傷する。

○雨の日は子供達の多くが長靴で登校する。長靴で体育館は使えないので、校舎用の履物は必要になる。また、指導しても足拭きマットを上手に使えない児童も沢山居り、避難訓練の後などは校舎内が汚れる。指導の徹底で出来ること、出来ないことが有る。

○体育館の床の保護の観点から体育館履きは必要。体育館と雨の日が気になる。

○砂埃が舞う運動場は如何なものか。体育館は上履きになる。学校を地域開放する場合は上履きに履き替える想定か。

●本市コミュニティセンターは履き替えている。学校と複合化する相手が履き替える施設であれば現在の学校と同じ。公民館は外履きのため、施設により違いがある。

○大学などは1足制で、体育館では体育館履きだが、校内を清掃する人がいる。児童が長靴で登校し、そのまま過ごすのは厳しいので、履き替えになると思う。メリット、デメリットが有ると思った。

○学校に対する固定観念がある。一足制は時代の流れを見ながら継続して検討したり、個別の学校建設の際に考えたりすることかもしれない。

トイレについて。小・中学校で、性自認に違和感がある子の割合はどの程度だろうか。

○トイレに関しては、個室が有れば問題無いとも考えるが、中学校の中では「みんなのトイレ」を男女別のトイレの中ではなく、共用としての整備要望がある。

○誰でも使えるトイレとして、手洗い場から入れると良い。

○みんなのトイレが共用スペースにあると良い。

○今は保護者から相談がある場合もある。

○「心地よいトイレ」のタイトルに更衣室の整備も足してはどうか。また、トイレを「コミュニケーションの場」とした理由は何か。

●当該箇所のイラストにトイレの外のベンチに子供が座っている様子が描かれている。ベンチがあることにより、他のクラスの子と話す機会が生まれることを表している。

○表現をもう少し工夫して欲しい。

1 足制については、地域と共にある学校という視点からも砂埃が舞わないグラウンドが望ましい。グラウンドの整備について、安全面からもう少しきっちり書いてほしい。

●検討する。

○個人的な意見だが、訪問時にスリッパに履き替えるのは不便。外から見ると、学校は不思議な空間だと思う。

○「豊かな緑に囲まれながら」について、児童生徒が木陰に居るような例はあまり見ないが、今後求められるのか。

●学校敷地内に植樹する意味は色々ある。一つは自然観察、更に市の緑化プランで学校施設は緑化する計画になっている。果実の生る木を植え、地域の方と交流が生まれる緑化は意味があると考えた。

○地域に管理の協力を頂いている学校があるが、助かる部分、重荷になってしまう部分もある。地域に頼るのが難しい場合もあるのではないか。

○市内の学校に果実の生る木はどのくらい有るか。

○結構ある。相模中学校と西中学校では柿、東中学校は晩白柚がある。特別支援学級の生徒が料理するなど活用している。

○柿や銀杏、ミカンなどが有り、採れたものを頂いている。

○果実の生る木を植えることで学校に問題は発生しないか。

○落葉樹の落ち葉がある程度で問題はない。学校に植える樹木の効果には、学校に対する防風、近隣住民の方への防砂、グラウンドで部活動を行う際の日影などがある。樹木の少ない学校からはターフを張って欲しいという要望が有り、日陰を作る意味合いは有る。

○植樹及び果実が生ることは問題無い。管理は植樹時に地域と協議してはどうか。

○地域に学校施設の管理を任せることは学校の負担になると思う。管理する地域の人達への気遣いや、しがらみが生じることもあるのではないか。

○実際に運用する上では、地域任せとしない方が良いという意見が挙がったこと、また、運用面で気を付けるということで良いか。

改めて整理すると、基本的にはこの内容で良いが、校庭の問題については事務局に加筆修正を依頼する。内容については事務局に一任する。

それでは、議題2「ざま魅力ある学校づくり方針（素案）」について、事務局に説明をお願いします。

議題2 ザマ魅力ある学校づくり方針（素案）について

- ・事務局から資料2に基づき、詳細な内容の説明

○これまでの議論が素案になった。素案について、今月中旬からパブリックコメントを行う予定である。委員の意見を反映できるのはこれが最後のため、意見をお願いしたい。

○図表2-4にある長寿命化改修は、本市が既に策定している長寿命化計画に基づく改修ということか。長寿命化改修の具体的な内容を確認したい。文部科学省の学校施設長寿命化改修の手引きによる長寿命化改修は、新築に近い改修。現在の校舎形状では目指す施設にたどり着くのは難しく、増築する可能性もあると思う。既存の躯体を利用した長寿命化は想定しているか。

○委員に質問だが、本方針素案の中で長寿命化計画について説明を行うことの有無について、どのように考えるか。

○この素案しか見ない方もいるので説明した方が良いとは思いますが、この分量の冊子では説明が尽くせない懸念も有るので、事務局に任せて良いと思う。

○これだけの内容について、敷地と資金は大丈夫か気になる。この方針が実現可能かシミュレーションして、施設の改修方針が見えると、見た人達が納得できると思う。

○そういった絵があると、大分違うと思う。

●実現プロセスは、第5章で図示した今後の取組のとおり、(仮称)学校再整備計画策定の中で具体的に検討していく予定である。シミュレーション結果だけで進めるわけにはいかない。財源は市長部局と協議しなければならない。

今後、本方針を市民に説明し、小・中学校全校を維持するために必要な費用、子供の減少、校舎の建替え時期について示し、合意形成を図る。その結果、施設量、費用なども計画に伴って現れると考える。

○この方針は、子供が減少し、学校施設の維持更新費用が掛かる見込のある中で、縮小だけでなく、「望ましい学校・魅力ある学校」を実現していく方針となる。

○方針ということで理解した。

○36ページ「留意事項」について。①で情報発信して市民参加の機会を設けながら情報共有を進めると書き、②で課題や教育環境の改善等の見える化を進めるとし、さらに④で優先順位の変更を行いながら柔軟な対応を行うとしている。分かりやすいと感じた。

○魅力ある学校の見える化として、資料1や方針素案の20ページ以降を模型や3Dを使って説明できたら面白い。

○バーチャルリアリティやパース絵を作ると、どのような学校になるか分かって良い。

○全体でどうなるか分かると良い。

○34ページ。本方針に示した学校施設は未来の学校としてイメージしたので、多目的室という文言はもう少し夢のある表現が良い。

○ここで言う多目的室は余剰教室ではない、ということを表したいということか。

○その通り。

30ページ。前ページの図を説明する際、「上段、中段、下段」という文言ではなく、「小規模、適正規模、大規模」とする方が分かりやすいのではないか。

「魅力ある学校」という表現について、鍵括弧の有無を整理した方が良い。

17ページ下。「教育の出発点である家庭教育への支援」は、「家庭との連携」にできないか。

15ページ。「座間市が目指す魅力ある学校とは」について、「とは」は不要。

各章のタイトルに下線を設けているが、必要無い。

○事務局では学校統廃合で生じる維持更新費用の節減について議論したか。

●事務局がバックデータを整理する過程で話題に上がった。

○6ページ。給食施設のエアコン設置状況の図表を見ると、エアコンが付いているのは休憩室と事務室のみ。食品を扱うためやむを得ないのか、予算の問題なのか、職場環境として良くない。

2ページ。図表「本方針の位置づけ」について、土台はどれか等、分かりやすく示せないか。

●給食室について補足したい。図表は令和4年11月時点で整理しているが、令和5年2月末に全ての給食調理室にエアコンを設置した。給食室はほぼ一体の施設であり、図表の内容を整理したい。

○17ページから19ページ。第3章「魅力ある学校とは」について、これまでの議論が反映されているか、意見が欲しい。

○19ページ。(1)の文中で使われている「詰め込み」という言葉は、「詰め込み教育」という言葉のように良いイメージが無い。別の言葉に置き換えできないか。

●「盛り込み」と置き換えてはどうか。

○19ページ(1)の部分について。この文章には、これまでの検討内容がまとまっている。特に、「子どもも大人もワクワクする学校をできる限り見える化し、最後はその時代の子どもや教職員、地域の方が創っていくことで「魅力ある学校」になっていく」が良い。

○19ページの(1)と(2)の部分。事前配布資料では、(1)は様々な教育内容が網羅された魅力ある学校であり、(2)は施設に限定した魅力ある学校と感じていた。本日の配布資料では、どちらも同じ魅力ある学校と受け取れ、納得した。

○魅力ある学校について。常に進化し、魅力がどんどんと増えていくものにしたい。魅力がずっと続いて欲しいので、「最後は」という言葉を「その時代その時代」としてはどうか。

また、(2)の最初の部分の主語である「子供達は」がどこに繋がるのか分かりずらいので、直して頂きたい。

○「子供達は」がどこに繋がるのかについて、同じように気になった。

「魅力ある学校」について、初めて見る人にはキャッチフレーズ的な文章の方が分かりやすいのではないか。例えば、「通いたくなる学校」「通わせたい学校」「応援したくなる学校」「職員が働きたくなる学校」など。方針を紹介するパンフレット作成の際は考えてみると良い。

○31ページ(2)学校配置について。(1)望ましい学校規模と同様に、「望ましい」学校の配置、が好ましいのではないか。

○資料の作り方について。児童生徒数の減少の説明の次に、児童生徒数の変化により学級数が増える、そして望ましい学校に繋げる方が良いのではないか。現在の資料構成は、夢が膨らんだ後でクラスの問題があるように感じる。

●事務局でも骨子案を作る際に色々検討した。初めに本市が目指す学校を提示した上で、そのための方策等を示す方が良いと考え、現在の構成とした。

○27ページ「方針実現のための指針・基準」について。この前のページまで読み、夢が膨らんだ後に指針が示され、冷たい感じがする。全体を組み替える必要は無いが、夢が続くような表現にできないか。

●多くの意見を頂いたので、持ち帰り整理してから矛盾が生じないように検討したい。

○望ましい学習環境を提示するにしても、現実を踏まえる必要がある。現実を踏まえてやるということも、また重要。魅力ある学校を実現するためには基準があって、基準は満たさなければいけないことを説明することも大事。

○意見をまとめる。まず6ページ。長寿命化の説明及びどの程度の改修であるか検討して欲しいという意見があった。

次に、パース絵作成の件については、パブリックコメント開始までには厳しいというのが委員長としての意見だが、了解頂けるか。

多目的室という文言については工夫をする。

図表4-2、4-3については、サブフィギュアとして本文で対応する。

魅力ある学校の鍵括弧の有無は、事務局で整理する。

17ページの枠内は、第3期教育大綱の内容をそのまま記載しているがどうするか。

●家庭教育への支援は本方針の内容とは別のものとするため、削除の方向で検討したい。

○枠内については、事務局の意見で修正をお願いする。

次に、「～とは」という表現は不要との意見がある。

章ごとのアンカーの示し方については整理して欲しい。

図表2-2小学校給食室の施設概要については、新しいデータに差し替える形にして欲しい。

図表1-1本方針の位置づけの示し方については、検討する。

19ページ「詰め込み」は、「盛り込み」に修正する。

19ページ(1)文中の「最後は」という表現と、(2)の主述関係の分からない部分については修正を依頼する。この部分は、修正後に校長先生にご確認頂けないか。

○了解した。

○31ページ(2)学校の配置について、タイトルに「望ましい」を付ける件は事務局で前後関係を含めて検討する。

第4章、24・25ページから27ページへの繋がりが冷たいという点は、望ましい学習環境を基準に沿って実現していくというワンクッションの言葉を足すような修正を事務局で検討して欲しい。

全体では、事務局から依頼のあった19ページの「魅力ある学校」についての内容は、委員

の皆さんからこれで良いとされたので、この内容とする。

修正して欲しい場所と内容を挙げたが、このような修正案で良いか。

○（一同）良い。

○事務局に修正案を検討してもらおうとした点については、事務局に一任してパブリックコメントを実施することで了解してもらえるか。

○（一同）了解した。

○事務局はより分かりやすい内容に修正するよう進めて欲しい。

個人的感想だが、市民は学校に関するコストを目の当たりにする。公教育は費用が掛かるが、期待もされている。学校は沢山の方に支えられているということを学校でも知らせることにより、施設を大事に使ってもらえるのではないか。

この後、事務局が修正した素案を11月中旬にパブリックコメントに掛ける予定である。

次回委員会では、パブリックコメントに提出された意見によって修正した版について、最終的な了承を得て「ざま魅力ある学校づくり方針」が、素案から案になる。

パブリックコメントの実施と対応は事務局に一任ということで良いか。

○（一同）良い。

○本日予定していた議事は終了したので、進行を事務局に返す。